



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年7月31日

上場会社名 株式会社G-7ホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 7508 URL <https://www.g-7holdings.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO (氏名) 金田 達三
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岸本 安正 TEL 078-797-7705
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	55,679	14.4	1,689	4.9	1,797	4.6	1,191	22.0
2025年3月期第1四半期	48,664	6.1	1,610	10.5	1,719	9.3	977	△20.5

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 1,179百万円 (3.6%) 2025年3月期第1四半期 1,138百万円 (7.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	27.27	—
2025年3月期第1四半期	22.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	71,382	32,880	46.1
2025年3月期	70,693	32,574	46.1

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 32,880百万円 2025年3月期 32,574百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	230,000	7.4	8,500	19.3	8,600	15.2	5,700	15.4	130.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社 (社名) 、除外 1社 (社名) 株式会社ボン・サンテ

(注) 詳細は、添付資料の7ページ「連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記」を参照してください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料の7ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」を参照してください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期1Q	44,071,454株	2025年3月期	44,071,454株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	368,786株	2025年3月期	368,766株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期1Q	43,702,668株	2025年3月期1Q	44,063,308株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記及び資料に記載した業績予想は、本資料の発表日現在における将来に関する前提・見通し・計画に基づく予想であり、リスクや不確定要素を含んだものであります。実際の業績は様々な重要な要素により、大きく異なる結果となる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の増加等により、緩やかな回復傾向が続くことが期待されるなか、その一方でグローバルな地政学リスクや米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクが高まっており、依然として先行きは不透明な状況が続いております。小売業界におきましては、継続的な物価上昇を背景に消費者の節約志向が強まると共に、業種・業態の垣根を越えた競争激化等、厳しい経営環境が続いております。

このような経営環境のなかで、当社グループは、人間尊重を経営基盤とし、顧客第一主義、現地現場主義によって顧客・株主・従業員・地域社会等のステークホルダーの満足度向上に向けた経営を実践してまいりました。また、当社の経営テーマである、業務フローの革新とDX推進による生産性向上に取り組み、働きたい会社・選ばれる会社を目指し、収益力の拡大に取り組みました。

以上の結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は55,679百万円(前年同期比14.4%増)、営業利益は1,689百万円(前年同期比4.9%増)、経常利益は1,797百万円(前年同期比4.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,191百万円(前年同期比22.0%増)となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

車関連事業につきましては、お客様のトータルカーライフを支えるべく、多様化するニーズに応じてまいりました。オイル・バッテリーなどの消耗品やタイヤ等の販売が堅調に推移し、これに伴うタイヤ取付工賃を中心としたサービス販売も増加しました。これにより、売上高は10,356百万円(前年同期比0.2%増)となり、経常利益は217百万円(同1.2%増)となりました。

業務スーパー事業につきましては、食料品や日用品が相次いで値上がりするなか、良質な食材を、お買い得な価格で提供する「業務スーパー」が、お客様に支持され販売は堅調に推移したものの、新規出店や既存店舗のリニューアルに伴う改装費用の増加等もあり、利益面では減少しました。新規出店につきましては、「業務スーパー」を中部圏に2店舗オープンしたことにより、当第1四半期末における「業務スーパー」の店舗数は217店舗となりました。これにより、売上高は33,567百万円(前年同期比21.7%増)となり、経常利益は1,297百万円(同0.8%減)となりました。

精肉事業につきましては、円安の影響などによる原材料価格の高騰が続く厳しい事業環境のなか、適正売価設定や商品規格の見直しを前年から継続したことや新規出店の増収効果等により、売上及び利益面ともに前年同期を上回りました。新規出店につきましては、「お肉のてらばやし」を中部圏に2店舗オープンしたことにより、当第1四半期末における「お肉のてらばやし」の店舗数は181店舗となりました。これにより、売上高は5,383百万円(前年同期比4.1%増)となり、経常利益は25百万円(同101.0%増)となりました。

その他事業につきましては、全国各地の厳選した付加価値の高い商材を取り扱うこだわり食品事業において、取引先の新規開拓及び商材の発掘により、販売が堅調に推移したことや、ミニスーパー事業「リコス」が、前年度におきましても不採算店舗を整理したこと等により、売上及び利益面ともに前年同期を上回りました。これにより、売上高は6,372百万円(前年同期比14.4%増)となり、経常利益は138百万円(同59.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債、純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ689百万円増加し71,382百万円となりました。負債につきましては、前連結会計年度末に比べ383百万円増加し38,502百万円となりました。純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ305百万円増加し32,880百万円となり自己資本比率は46.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期(通期)の連結業績予想につきましては、2025年5月13日発表の公表値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,869	16,454
売掛金	6,893	6,163
商品及び製品	9,108	10,241
その他	2,041	1,751
貸倒引当金	△16	△16
流動資産合計	34,898	34,595
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	30,830	30,966
減価償却累計額	△18,747	△18,666
建物及び構築物 (純額)	12,082	12,299
機械装置及び運搬具	2,615	2,670
減価償却累計額	△1,898	△1,928
機械装置及び運搬具 (純額)	716	742
土地	6,346	6,709
建設仮勘定	321	592
その他	9,835	10,183
減価償却累計額	△7,621	△7,707
その他 (純額)	2,213	2,476
有形固定資産合計	21,681	22,821
無形固定資産		
のれん	4,617	4,491
その他	350	350
無形固定資産合計	4,967	4,841
投資その他の資産		
投資有価証券	123	129
敷金及び保証金	6,145	6,115
繰延税金資産	2,734	2,739
その他	211	209
貸倒引当金	△69	△69
投資その他の資産合計	9,145	9,124
固定資産合計	35,795	36,787
資産合計	70,693	71,382

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	9,877	9,370
短期借入金	9,360	9,008
未払法人税等	1,184	711
賞与引当金	1,048	1,246
その他	5,917	5,791
流動負債合計	27,387	26,128
固定負債		
長期借入金	4,650	6,415
再評価に係る繰延税金負債	43	43
役員退職慰労引当金	78	78
資産除去債務	4,346	4,340
退職給付に係る負債	790	749
その他	822	746
固定負債合計	10,731	12,373
負債合計	38,118	38,502
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,791	1,791
資本剰余金	2,789	2,789
利益剰余金	29,007	29,325
自己株式	△625	△625
株主資本合計	32,964	33,281
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	37	41
土地再評価差額金	△515	△515
為替換算調整勘定	22	22
退職給付に係る調整累計額	65	49
その他の包括利益累計額合計	△389	△401
純資産合計	32,574	32,880
負債純資産合計	70,693	71,382

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	48,664	55,679
売上原価	36,964	42,306
売上総利益	11,700	13,373
販売費及び一般管理費	10,090	11,683
営業利益	1,610	1,689
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	0
受取手数料	39	45
協賛金収入	71	79
固定資産売却益	0	56
為替差益	38	—
その他	21	28
営業外収益合計	172	210
営業外費用		
支払利息	11	26
固定資産処分損	46	68
その他	5	7
営業外費用合計	63	102
経常利益	1,719	1,797
特別損失		
関係会社清算損	193	—
特別損失合計	193	—
税金等調整前四半期純利益	1,525	1,797
法人税等	548	606
四半期純利益	977	1,191
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	977	1,191

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	977	1,191
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9	4
為替換算調整勘定	171	0
退職給付に係る調整額	△0	△16
その他の包括利益合計	161	△12
四半期包括利益	1,138	1,179
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,138	1,179
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)

連結の範囲の重要な変更

当第1四半期連結会計期間において、当社の連結子会社でありました株式会社ボン・サンテは、2025年4月1日付で当社の連結子会社である株式会社G - 7 スーパーマーケットに吸収合併され消滅会社となったため、連結の範囲より除外しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	596百万円	658百万円
のれんの償却額	3	126

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	車関連事業	業務スーパー 事業	精肉事業	計				
売上高								
顧客との契約から 生じる収益	10,255	27,572	5,170	42,999	5,443	48,442	—	48,442
その他の収益	82	12	—	95	127	222	—	222
外部顧客への 売上高	10,338	27,584	5,170	43,094	5,570	48,664	—	48,664
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	5	382	0	387	7	395	△395	—
計	10,344	27,967	5,171	43,482	5,578	49,060	△395	48,664
セグメント利益	214	1,308	12	1,535	87	1,622	96	1,719

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、こだわり食品事業、アグリ事業、ミニスーパー事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額 96百万円には、セグメント間取引消去等による 445百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 △349百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・財務部門等の管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	車関連事業	業務スーパー 事業	精肉事業	計				
売上高								
顧客との契約から 生じる収益	10,281	33,555	5,383	49,219	6,253	55,473	—	55,473
その他の収益	75	12	—	87	119	206	—	206
外部顧客への 売上高	10,356	33,567	5,383	49,306	6,372	55,679	—	55,679
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	0	403	1	405	7	412	△412	—
計	10,357	33,970	5,384	49,712	6,380	56,092	△412	55,679
セグメント利益	217	1,297	25	1,540	138	1,679	118	1,797

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、こだわり食品事業、アグリ事業、ミニスーパー事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額 118百万円には、セグメント間取引消去等による 521百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 △402百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・財務部門等の管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。